

令和4年度 第1回 山形市少年自然の家運営協議会

日 時 令和4年7月20日(水)
午前10時から

場 所 山形市少年自然の家 研修室

次 第

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 運営協議会会長あいさつ

4 委員及び事務局職員紹介

5 協 議

(1) 令和3年度 事業報告について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

(2) 令和3年度 施設利用報告について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4、5

(3) 令和4年度 事業計画について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

(4) 令和4年度 施設利用予定について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7、8

(5) 施設整備の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9、10

(6) その他

6 閉 会

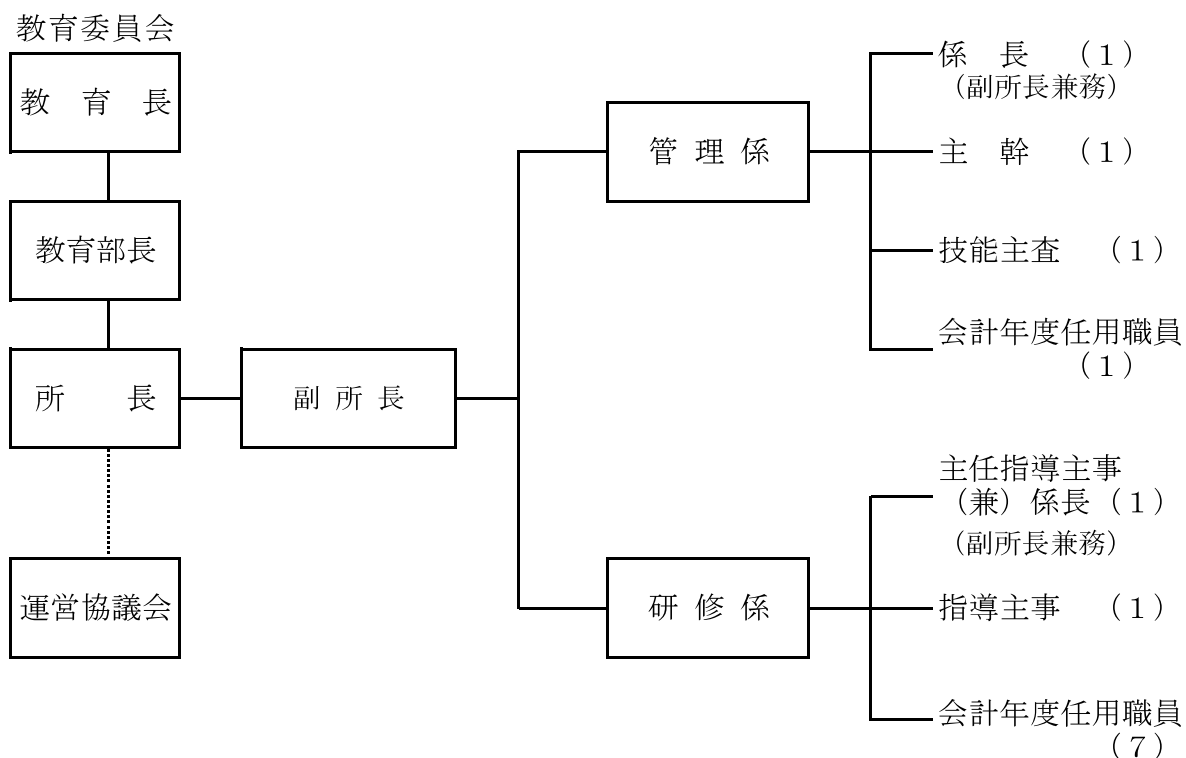
少年自然の家運営委員名簿

敬称略 2023/3/20

No	会長 副会長	委員名	ふりがな	役職等	就任	規則15条
1		櫻井 順一	さくらい じゅんいち	山形市立第二小学校長	令和2年5月28日～	1号委員 (小中学校長)
2		栗田 和真	くりた かずまさ	山形市立第八中学校長	令和2年5月28日～	1号委員 (小中学校長)
3		辻原 吉子	つじはら よしこ	ガールスカウト山形県連盟監事	令和元年6月1日～	2号委員 (社会教育関係少年団体の役員)
4		奥山 竜士	おくやま りゅうじ	山形青年会議所監事	令和4年4月20日～	3号委員 (山形市社会教育委員)
5		鹿又 源州	かのまた げんしゅう	山形市PTA連合会副会長	令和4年6月29日～	4号委員 (知識経験を有する者)
6		黒沼 末八	くろぬま すえはち	双葉を良くする会	令和3年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)
7		三須 洋子	みす ようこ	山形市レクリエーション協会理事	平成23年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)
8		横倉 明	よこくら あきら	日本蝶類科学学会理事	平成19年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)
9		奥山 健悦	おくやま けんえつ	公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構 山形県民の森所長	令和3年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)
10		齋藤 和夫	さいとう かずお	前東北文教大学人間科学部子ども教育学科特任准教授	令和元年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)

任期 令和3年6月1日から令和5年5月31日

令和4年度 山形市少年自然の家 組織図



係	職	氏名	カナ
	教育長	金 沢 智 也	カナザワ トモヤ
	教育部長	高 橋 一 実	タカハシ カズミ
	所 長	小 関 仁 美	コセキ ヒトミ
管理係	副所長(管理担当) (兼) 係長	伊 藤 義 文	イトウ ヨシフミ
	主 幹 (庶務担当)	横 山 誠	ヨコヤマ マコト
	技能主査	板 垣 淳	イタガキ アツシ
	会計年度任用職員	櫻 井 涼	サクライ リョウ
研修係	副所長(兼) 主任指導主事 (兼) 係長	山 口 雅 和	ヤマグチ マサカズ
	指 導 主 事	森 山 真 澄	モリヤマ マスミ
	会計年度任用職員 (サ・ビ・センター運営)	遠 藤 光 男	エンドウ ミツオ
	会計年度任用職員 (サ・ビ・センター運営)	大 澤 哲 夫	オオサワ テツオ
	会計年度任用職員 (少年自然の家運営)	遠 藤 優 介	エンドウ ユウスケ
	会計年度任用職員 (養護業務)	乙 坂 まりん	オトサカ マリン
	会計年度任用職員 (少年自然の家運営)	湯 本 崇大朗	ユモト ソウタロウ
	会計年度任用職員 (少年自然の家運営)	渡 辺 光	ワタナベ ヒカル
	会計年度任用職員 (養護業務)	松 野 皐	マツノ サツキ

令和3年度 主催事業成果と課題

山形市少年自然の家

対象	No.	主催事業名	募集人員	ねらい	方向性 または 成果と課題	主な内容	期日
I 指導者	1	夏期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]中止	該当団体	各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにすることを、実技研修・育ちを実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。	今年度の利用指導者講習会は中止となり、利用調整については電話でのやりとりで行っていただいたり、自然の家スタッフがメインとなり調整を図ることとした。本来は利用団体同士で調整していただくことが望ましいので、今後に期待したい。 若手の教員も増え、実技研修の機会の確保や事前研修の充実という意味においても、重要な機会とらえている。昨年度は中止となった山形市の初任者研修は日帰りで行われたが、宿泊してその研修という部分があるので、施設利用の目的等についても初任の先生方に伝えていくために、この機会を大切にしたい。	施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント 利用調整・事務手続	4月16日(金) 1部 9:00~12:00 2部 14:00~17:00
	2	秋期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]中止	該当団体	各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにすることを、実技研修・育ちを実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。	今年度は実施することができず、新規のボランティアのメンバーを募ることもできなかった。コロナ感染症の様子をみて、市内の大学3校に広く呼びかけたい。(山大・東北文教大・芸工大)	施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	8月3日(火) 1部 9:00~13:00 2部 14:00~17:00
	3	冬期利用指導者講習会 [小・中学校教員]中止	該当団体	各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにすることを、実技研修・育ちを実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。	今年度は実施することができず、新規のボランティアのメンバーを募ることもできなかった。コロナ感染症の様子をみて、市内の大学3校に広く呼びかけたい。(山大・東北文教大・芸工大)	子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	11月5日(金) 14:20~16:50
	4	利用指導者講習会 [子供会等]中止	該当団体	施設見学や実技研修・研修プログラムについての研修を行い、指導者の資質向上をめざす。	今年度は、子ども会活動を実施する団体も少なく、この講習会も中止とした。来年度は、団体のニーズに応じた講習会にするため、午前の部の実技研修と、午後の部の講話及び利用調整に分けて実施したい。	施設見学・プログラム体験(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	5月30日(日) 1部 9:00~13:00 2部 13:30~17:00
	5	冬期利用指導者講習会 [子供会等]中止	該当団体	施設見学や実技研修・研修プログラムについての研修を行い、指導者の資質向上をめざす。	事前打ち合わせにおいて、冬の事故等の事例をもとに、リスクマネジメント研修を強化していく。	実技研修(選択) リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	各団体個別に実施
	6	ボランティア スタッフセミナー 1泊2日 [学生・一般]中止	大学生 大学院生	子ども理解を深め、各事業での具体的な活動を想定しながら研修することにより、ボランティアとしての資質向上を図る。	今年度は実施することができず、新規のボランティアのメンバーを募ることもできなかった。コロナ感染症の様子をみて、市内の大学3校に広く呼びかけたい。(山大・東北文教大・芸工大)	ベッドメイキング テント設営 炊飯活動 研修場での支援の在り方(講習) 各種クラフト研修 他	5月8日(土) 9日(日)
II 小・中学生	7	第23回 わんぱくサマーキャンプ 1泊2日→日帰り×2	小4~中3 20名程度 18名×2日 57名申込	キャンプや自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを実感するとともに、友だちと協力することの大切さを感じ取る。	異学年の交流を大切に活動を進めたが、今年度は自分自身の力を試したり、向上させたいことに主眼を置いた。来年度以降は「交流」を大事にしたい。また、夏期間については、日帰りとする中でコロナウイルス感染防止対策を心がけたが、冬期間については一泊することができた。来年度以降もコロナの感染状況を見据えて、臨機応変に対応していきたい。 ボランティア2名参加	キャンプ・ナイトハイク 追跡ハイキング 退所ハイク 他	7月24日(土)~25日(日) ↓ 7月24日(土)・25日(日)
	8	第28回 わんぱくウインターキャンプ 1泊2日	小4~中2 20名程度 12名参加	冬の自然体験を通して、自然の雄大さ・協力することの大切さを実感するとともに、門松作りなどの伝統文化のよさを味わう。	今年度は実施することができず、新規のボランティアのメンバーを募ることもできなかった。コロナ感染症の様子をみて、市内の大学3校に広く呼びかけたい。(山大・東北文教大・芸工大)	門松づくり 雪上運動会 他	12月18日(土) ~19日(日)
	9	第35期 少年団 1泊2日 年7回	小4 40名程度 36名 54名申込	年間7回の宿泊活動の中で、さまざまな自然体験や仲間との協働体験などを通して、心身ともにたくましく、自然を愛する子どもを育成する。	学校などでは経験できない体験活動を提供し、学校や学年のリーダーになれるように炊飯活動や宿泊棟での生活など、基本的な技能を身につけることができるようにした。 今年度はコロナウイルス感染防止対策上、活動の変更・中止・短縮が余儀なくされた。この活動の変更においても自然の環境を生かしながら、子どもの自主性を大切に活動の企画・運営を考えて実施した。また、そのための事前の準備もしっかりと行うことで急な変更にも対応しながら充実した活動につなげることができた。	プロジェクトアドベンチャー・ナイトハイク 他 結団式・オリエン=半数ずつ日帰り キャンプファイヤー・炊飯=半数ずつ日帰り ミステリーツアー→うどん打ち 他 ウッドチップアート=日帰り、全員で メスティンでご飯作り=半数ずつ日帰り ラング・自作ソリ 他 雪上運動会・文集・卒団式 他	① 5月22日(土)~23日(日)中止 ② 7月3日(土)・4日(日) ③ 8月7日(土)・8日(日) ④ 9月25日(土)~26日(日) ⑤ 10月16日(土)~17日(日) ⑥ 11月13日(土)・14日(日) ⑦ 1月8日(土)~9日(日)初泊 ⑧ 2月19日(土)~20日(日)
	10	わくわくキッズキャンプ 1泊2日→日帰り×2 冬期は一泊	小3~4 各20名程度 ①19名②20名 ①+②92名申込 ③28名申込	自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを実感するとともに、初めて会う職員や友達と交流する楽しさを味わう。	全て日帰りの稼働となってしまったが、参加者の満足度は高いものとなった。今後も活動の工夫をしながら、臨機応変にプログラムを組みこみ心に残る活動としていきたい。	夏 炊飯活動・東黒森山登山 キャンプファイヤー・いかだ 他 冬 ソリ滑り・チューブ滑り アイスクリューム作り・ラング 他	① 6月19日(土)~20日(日) ② 6月26日(土)~27日(日) ③ 2月5日(土)~6日(日)中止
	11	森の昆虫見つけ隊 3日間より選択	小3~中3 までの親子 10組20名程度	昆虫採集・標本作りを通して、豊かな自然環境を大切にしていこうとする気持ちを育てる。	昨年度は2回の実施で、期間も空けてと言ったことになったが、今年度は3回行うことができた。昨年度の参加者を絞らざるを得なかったという経緯を踏まえて、来年度は3回の実施を計画したことで、一人ひとりに丁寧に対応することができた。	昆虫採集 昆虫標本作り	① 7月30日(金) 6組 ② 7月31日(土) 11組 ③ 8月1日(日) 11組
III 親子	12	親子 ふれあいハイキング 日帰り	小1,2年の親子 10組程度 10組/日 76組申込	親子自然散策や調理などを通して自然の豊かさを体感させるとともに、親子でのふれあいの機会をつくる。	自然体験活動や炊飯活動を通して、親子のコミュニケーションの活性化を図ることができた。保護者の中には、子どもの成長を感じたという感想も多かった。宿泊をなくし、日帰りとしたが申込みが多く、急遽回数を増やしたという経緯もあり、来年度も継続したい。	親子自然体験活動 親子炊飯活動 ↓ ピザ作りアドベンチャー ダッチオープンピザ 他	5月29日(土) 6月6日(日)
	13	親子そば打ち道場 orキャンプ飯 日帰り	中3までの親子 15組程度 ↓ 親子10組 27組申込	親子での体験を通して、自然の家の役割についての理解を深め、自然に親しむ契機としていただく。	地産地消を推進し、地域に伝わる技術と継承するというねらいがあったが、コロナウイルス感染の対策で親子毎の炊飯活動とした。ダッチオープンを使うことが初めてという方が多く、いい感想をもつ方が多かった。来年度も状況を踏まえて、活動を計画したい。	竹のそば猪口と箸づくり そば打ち講習 ↓ ダッチオープンでホットドッグ+焼羊	10月30日(土)
IV 一般市民	14	自然の家 秋祭り	一般市民 200名程度 ↓ 452名	市民に施設を広く開放し、様々な野外活動・文化活動などの機会を提供することにより、少年自然の家の機能や役割についての理解を深め、豊かな山形の自然環境保全について考える契機としていただく。	コロナウイルス感染防止を考慮して延期したが、11月になってから行うことができた。今年度は山形の学生さんによる野外コンサートをしたこと、全てで活動をしたことで多くの市民の参加を得ることができた。 また、今年度就労支援所「こんにやく道場」の出店を依頼したことで、会場を盛り上げていただいた。	野外活動 (グランドゴルフ、製作体験 他) 文化活動 (プラネタリウム、各種クラフト 他) ↓ 山形の学生さんによる音楽ステージメイ ン	9月21日(日) ↓ 11月5日(日)
	15	周辺の自然を味わう×季節毎 新規	一般市民 10名程度 10月...16名 1月...31名 2月...	同上	一般市民に、自然の家の施設や活動内容について理解していただくような体験活動の場を提供することができた。季節毎に内容を合わせて、計画したことによって満足度とリピート度の高い事業となった。 冬期の利用促進のために、新たに事業を実施した。	自然の家周辺	4月24日・25日 21人申込中止 秋9月11日(土)12日(日) →10月2日(土)3日(日) 冬 令和4年1月29日(土) + 2月27日(日)
	16	プラネタリウム一般公開 年3回	一般市民 10家族程度	一般市民を対象とした生涯学習を目的とし、プラネタリウム体験を通して、星空への興味や関心を高める。※2回目は、自然の家秋祭りの一つの活動として計画する。	世代の違いがあっても満足できるような上演に努めてきた。また、本来であれば100名までの入場でプラネタリウムを鑑賞していただけたのだが、コロナウイルス感染防止の観点から、親子対象の公開として、1実際の星空観察を行う内容に変えている。どの回も申込みが多く好評であった。	1回目...春・夏の星座 9組 26組申込 2回目...夏・秋の星座 3回目...秋・冬の星座 11組 16組申込	① 6月5日(土) ② 9月5日(日)中止 ③ 10月23日(土)
	17	サービスセンター クラフトウィーク 新規	一般市民 利用無し	一般市民を対象とし、自然に親しむとともに、気軽にクラフト体験ができるようにする。	具体的な制作物の提示がなかったり、開催日が平日であったり、広報が少なかったりしたことによって、利用がなかった。来年度は以上の3点を改善したい。	自然物でクラフト体験	9月・10月・11月の第三週
V 共催	18	雪椿まつり 中止	一般市民 200名程度	雪椿の群生地として貴重な場所であることを広く知らせ、環境への関心を高める。	地元の方々に協力しながら、自然環境についての理解を深めていただく場とするねらいがあったが、今年度は中止している。来年度はコロナの状況を見て判断することとなる。	武田先生、山田先生による説明 他	4月下旬頃
VI 支援	19	山形大学 社会教育実習	山形大学 学生 12名受講	学校教育と社会教育の連携の在り方や子どもに対する支援の在り方について、実際の活動を通して理解を深めさせる。	本来であれば講義や実技研修を中心とした基本実習と、実際の事業をサポート体験する応用実習の両方を体験することを学生に課している。しかし、コロナの影響で今年度は基礎実習のみとするしかなかった。来年度もコロナの状況を見極めて	基本実習 ・指導者に必要な支援を学ぶ講義 ・実技研修 他 応用実習 ・実際の支援の在り方を体験する研修	基本:8月11日(水)~13日(金) ↓ 10月8日(金)~10日(日)

令和4年度 月別利用状況

4年度	本館						荒沼キャンプ場					板橋沼キャンプ場					野外活動センター					合計							
	小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他	小計	小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他	小計	小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他	小計	小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他	小計	小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他
実 団 体 数	4月			1		1					0					0			1		1	0	0	0	2	0	2		
	5月	5	4			9					0			2		2		1		1	2	5	5	0	2	1	13		
	6月	30			4	2	36				0	11		1	4	16	5		2		7	46	0	1	10	2	59		
	7月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	8月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	9月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	10月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	11月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	12月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	1月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	2月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	3月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	合計	35	4	0	5	2	46	0	0	0	0	0	11	0	1	6	0	18	5	1	0	3	1	10	51	5	1	14	3
前年度比	27	2	1	3	4	37	0	0	0	0	0	7	0	0	3	0	10	9	1	0	0	2	12	43	3	1	6	6	59
																											125.4%		
延 人 数	4月			16		16					0					0			16	339	355	0	0	0	32	339	371		
	5月	239	531			770					0			44	44		57		441	498	239	588	0	44	441	1,312			
	6月	3,280			74	65	3,419				0	865		42	91	998	283		35	361	679	4,428	0	42	200	426	5,096		
	7月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	8月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	9月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	10月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	11月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	12月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	1月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	2月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	3月					0					0					0					0	0	0	0	0	0	0		
	合計	3,519	531	0	90	65	4,205	0	0	0	0	0	865	0	42	135	0	1,042	283	57	0	51	1,141	1,532	4,667	588	42	276	1,206
前年度比	1,693	202	27	65	120	2,107	0	0	0	0	0	491	0	0	71	0	562	691	168	0	0	1,705	2,564	2,875	370	27	136	1,825	5,233
																											129.5%		

令和4年度 利用団体予定一覧表(令和4年7月1日現在)

9 月					10 月					11 月					12 月					1 月					2 月					3 月										
日	曜	行事	本館	サービスセンター	曜	行事	本館	サービスセンター	曜	行事	本館	サービスセンター	曜	行事	本館	サービスセンター	曜	行事	本館	サービスセンター	曜	行事	本館	サービスセンター	曜	行事	本館	サービスセンター	日	曜	行事	本館	サービスセンター	日	曜	行事	本館	サービスセンター		
1	木		赤通中①104		土	SC事業 秋の周辺の自然を味わう			火				木				1	日	元日	※条例による休日~1/3	水				1	日														
2	金		出羽小④59		日			理科マスター教育プログラム研修20	水				金				2	月			木				2	月														
3	土		自然の家 プラネタリウム一般公開①	こども園ちとせ30	月				木				土				3	火			金				3	火														
4	日		自然の家 秋祭り(プラネタリウム一般公開②)		火			山南小①②180	金				日				4	水			土				4	水														
5	月				水				土				月				5	木			日				5	木														
6	火				木			蔵王一小①②129 山四小①③3	日				火				6	金			月				6	金														
7	水		高瀬小④⑤36		金			社会教育実習② 野川小①②197	月				水				7	土			火				7	土														
8	木		出羽小⑤77		土			山大附属幼稚園100	火				木				8	日			水				8	日														
9	金				日			大曾根小①②18	水				金				9	月			木				9	月														
10	土		山形学園30 ガールスカウト15	どんりり5725	月			スポーツの日	木				土				10	火			金				10	火														
11	日				火			編休	金				日				11	水			土				11	水														
12	月				水			山二小①78	土				月				12	木			日				12	木														
13	火		丸沼キャンプ場閉鎖	出羽小①70	木			千歳小全375(板橋利用) 山一小①②90	日				火				13	金			月				13	金														
14	水		山形盲学校⑤3 ポート利用		金			山五小①63 山九小①110	月				水				14	土			火				14	土														
15	木		山四小全207		土			第3日曜日の前日	火				木				15	日			水				15	日														
16	金				日			明治小①9 宮浦小①50	水				金				16	月			木				16	月														
17	土				月				木				土				17	火			金				17	火														
18	日				火			山東小①67	金				日				18	水			土				18	水														
19	月				水				月				月				19	木			日				19	木														
20	火		山大附小③107 学習センター30		木				日				火				20	金			月				20	金														
21	水				金			山三小①56 山十小①85	月				水				21	土			火				21	土														
22	木		板橋キャンプ場閉鎖		土			少年団⑤	火				木				22	日			水				22	日														
23	金				日				金				月				23	月			木				23	月														
24	土				月				木				土				24	火			金				24	火														
25	日				火				金				日				25	水			土				25	水														
26	月				水				土				月				26	木			日				26	木														
27	火				木			南沼原小①161	日				火				27	金			月				27	金														
28	水				金			蔵王三小全10	月				水				28	土			火				28	土														
29	木				土			プラネタリウム一般公開③	火				木				29	日			水				29	日														
30	金				日			親子そば打ち道場 or キャンプ飯	水				金				30	月			木				30	月														
31	土				月				土				火				31	火			金				31	火														

※※※※…は休館日。 ▲▲▲▲…は主催事業。「網掛け」のところは施設点検日。 以上の部分については、受け入れができませんので、ご理解の程よろしく願います。

令和4年度 主催事業実施計画

山形市少年自然の家

対象	No.	主催事業名	募集人員	ねらい	方向性	主な内容	期日
I 指導者	1	夏期利用指導者講習会 中止 書面連絡 [小・中学校教員等]	該当団体	各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにすべく、実施研修・育ちを実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすと同時に、利用団体間の利用調整を行う。	各校の「子どもが育つプログラム」をデザインする力を高めることを踏まえ、さらには若手教員が増えている実情にも配慮し、2部構成で実施する。 第1部(午前)は実技研修。第2部(午後)は必修とし、育ちを実現するための活動と支援やリスクマネジメント・手続き等を学ぶ研修及び各団体間の利用調整を実施する。参加する教員の負担軽減も考慮して第2部の開始時間を30分遅くする。また、冬期講習会については、実技研修の必要がないことから午後のみの実施とし、会場も市街地公民館等を利用する。	施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント 利用調整・事務手続	4月15日(金)
	2	秋期利用指導者講習会 中止 書面連絡 [小・中学校教員等]	該当団体				8月2日(火)
	3	冬期利用指導者講習会 [小・中学校教員]	該当団体				12月2日(金)
	4	利用指導者講習会 中止 [子供会等]	該当団体				5月29日(日)
	5	冬期利用指導者講習会 [子供会等]	該当団体				各団体個別に実施
	6	ボランティア —スタッフセミナー— 中止 1泊2日 [学生・一般]	大学生 大学院生				子ども理解を深め、各事業での具体的な活動を想定しながら研修することにより、ボランティアとしての資質向上を図る。
II 小・中学生	7	第24回 わんぱくサマーキャンプ 1泊2日	小4～中3 20名程度 申込30名	キャンプや自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを実感するとともに、友だちと協力することの大切さを感じ取る。	キャンプやウォークラリー、表現活動、製作活動などをバランスよく仕組み、協働体験や自然体験の喜びを体感させる。異学年の交流を大切に活動を展開する。	キャンプ・ナイトハイク 追跡ハイキング 退所ハイク 他	7月23日(土) 日帰り実施 ～24日(日)
	8	第29回 わんぱくウインターキャンプ 1泊2日	小4～中2 20名程度	冬の自然体験を通して、自然の雄大さ・協力することの大切さを体感するとともに、門松作りなどの伝統文化のよさを味わう。	自然の家の施設やプログラムを活用した研修内容を設定し、自然の中で活動する喜びを体感させる。異学年の交流を大切に活動を展開する。	門松づくり 雪上運動会 他	12月24日(土) ～25日(日)
	9	第36期 少年団 1泊2日 年7回	小4 36名程度 申込44名	年間7回の宿泊活動の中で、さまざまな自然体験や仲間との協働体験などを通して、心身ともにたくましく、自然を愛する子どもを育成する。	学校などでは経験できない体験活動を提供し、学校や学年のリーダーになれるように炊飯活動や宿泊棟での生活など、基本的な技能を身につけることができるようにする。 また、苦労の中にも「夢や願い」をもつことができるような活動を吟味し、仲間と心で繋がりに乗り越えていく心地よさを主体的に行動する充実感を味わえるように支援する。	18名ずつ 2日に分けて開催 36名全員参加 白鷹山WR・プラネ・運動広場野宿 他 ミステリーツアー・うどん打ち 他 3食炊飯活動(芋煮)・草木染め 他 ラング・自作ソリ 他 雪上運動会・文集・卒団式 他	① 6月4日(土)～5日(日) 日帰 ② 7月2日(土)～3日(日) 日帰 ③ 8月6日(土)～7日(日) ④ 9月24日(土)～25日(日) ⑤ 10月22日(土)～23日(日) ⑥ 1月7日(土)～8日(日) ⑦ 2月25日(土)～26日(日)
	10	わくわくキッズキャンプ 1泊2日 年3回	小3・4 各20名程度 申込55人	自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを体感するとともに、初めて会う職員や友達と交流する楽しさを味わう。	学校等で経験できないプログラムを提供し、炊飯活動や宿泊棟での生活など基本的な技能を身につけることができるようにする。	夏 炊飯活動・東黒森山登山 キャンプファイヤー・いかだ 他 冬 ソリ滑り・チューブ滑り アイスクリューム作り・ラング 他	① 6月18日(土)～19日(日) 日帰 ② 6月25日(土)～26日(日) 日帰 ③ 2月4日(土)～5日(日)
III 親子	11	森の昆虫見つけ隊 3日間より選択	各回 小3～中3 までの親子 10組20名程度 申込40組	昆虫採集・標本作りを通して、豊かな自然環境を大切にしていこうとする気持ちを育てる。	土日に実施し、親子で参加しやすいようにする。また、多くの参加者が見込める際には、複数の講師を招聘し、十分な対応ができるようにする。	昆虫採集 昆虫標本づくり	① 7月29日(金) ② 7月30日(土) ③ 7月31日(日)
	12	親子 ふれあいハイキング 日帰り	小1・2年の親子 10組程度 申込33組	親子自然観察や調理などを通して自然の豊かさを体感させるとともに、親子でのふれあいの機会をつくる。	自然体験活動や炊飯活動を通して、親子のコミュニケーションの活性化を図る。また、子どもの体験を豊かにするための「見守る姿勢」の重要性も伝えながら、活動を展開する。	親子自然体験活動 親子炊飯活動 他	5月21日(土) 申込16組 5月28日(土) 申込17組
IV 一般市民	13	親子そば打ち道場 orキャンプ飯 日帰り	中3までの親子 15組程度	親子での体験を通して、自然の家の役割についての理解を深め、自然に親しみ契機としていただく。	Myそば猪口・My箸作りやそば打ちを通して、親子の絆を深める。また、地域人材を活用し、地域に伝わる技術を継承する。	竹のそば猪口と竹箸づくり そば打ち講習 そば試食会	10月30日(日)
	14	自然の家 秋祭り	一般市民 200名程度	市民に施設を広く開放し、様々な野外活動・文化活動などの機会を提供することにより、少年自然の家の機能や役割についての理解を深め、豊かな山形の自然環境保全について考える契機としていただく。	一般市民に、自然の家の施設や活動内容について理解していただくような体験活動の場を提供する。また、人気のある特製芋煮を多めに用意し、多くの方々に喜んでいただけるようにする。	野外活動 (グランドゴルフ、製作体験 他) 文化活動 (プラネタリウム、各種クラフト 他)	9月4日(日)
	15	周辺の自然を味わう×季節毎	一般市民 20名程度	同上	一般市民に、自然の家の施設や活動内容について理解していただくような体験活動の場を提供する。	自然の家周辺	春4月23日(土) 秋10月1日(土) 冬 令和5年1月28日(土) 冬 令和5年2月25日(土)
	16	家族でキャンプ体験	一般市民 家族5組 受付中	一般市民にテント泊によるキャンプ体験を提供し、入門編として今後のキャンプ体験のきっかけとしていただく。	一般市民に、入門期の板橋沼キャンプ場での宿泊体験を提供する。	板橋沼キャンプ場	① 6月18日(土)～19日(日)12組 ② 6月25日(土)～26日(日)10組
	17	プラネタリウム一般公開 年3回	一般市民 10家族程度	一般市民を対象とした生涯学習を目的とし、プラネタリウム体験を通して、星空への興味や関心を高める。※2回目は、自然の家秋祭りの一つの活動として計画する。	世代の違いがあっても満足できるような上演に努める。また、山形大学名誉教授 柴田先生からのご協力をいただきながらの公開となる。	1回目……春・夏の星座 2回目……夏・秋の星座 3回目……秋・冬の星座	①5月22日(日)延期→9/3 ② 9月4日(日) ③ 10月29日(土)
	追加	所長杯 モルック大会	一般市民 50人程度	外にでて身体を動かすがすがしさを体験していただく。	山形県もルック協会とこんにやく道場と連携して初の開催となる。	板橋沼キャンプ場	7月30日(土)と31日(日)受付中
V 共催	18	サービスセンター クラフトウィーク	一般市民	一般市民を対象とし、自然に親しみとともに、気軽にクラフト体験ができるようにする。	自然物を用いて、気軽にクラフトの体験をしてもらい、来所の満足度を高める。	自然物でクラフト体験	9月～11月の第三週 9/13～16 10/17～21 11/15～18
	19	雪椿まつり	一般市民 200名程度	雪椿の群生地として貴重な場所であることを広く知らせ、環境への関心を高める。	地元の方々に協力しながら、自然環境についての理解を深めていただく場とする。	武田先生、山田先生による説明 他	4月下旬頃
VI 支援	20	山形大学 社会教育実習	山形大学 学生	学校教育と社会教育の連携の在り方や子どもに対する支援の在り方について、実際の活動を通して理解を深めさせる。	講義や実技研修を中心とした基本実習と、主催事業の中で実際に子どもに支援する応用実習の関連を明らかにしながら指導にあたる。	基本実習 ・指導者に必要な支援を学ぶ講義 ・実技研修 他 応用実習 ・実際の支援の在り方を体験する研修	基本:8月16日(火) ～18日(木) 応用実習:各主催事業

施設整備の状況について

昭和54年の竣工から45年が経過し、全体的に建物や設備の老朽化が目立って来ているため、「山形市少年自然の家施設整備計画」を策定し、その計画に基づき施設の改修を進めています。

【令和3年度の整備実績】

- 本館事務室、体育館ほか耐震改修（令和2年度から継続）
- Tバーリフト制御盤更新
- 本館給水管修繕
- スノーモービル更新

【これまでの主な整備実績】

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 平成29年度～30年度 | 飲用水等ろ過設備改修 |
| 平成30年度 | 食堂屋根改修、受電設備改修、本館炊飯棟流し場修繕 |
| 令和元年度 | 荒沼キャンプ場バンガロー修繕 |
| 令和2年度～3年度 | 本館事務室、体育館ほか耐震改修 |

【令和4年度の整備実績】

- 谷のぞきブランコ撤去
- 荒沼キャンプ場炊事棟屋根撤去
- 眺望の砦修繕
- 板橋キャンプ場シャワー給湯器修繕

【今後の主な整備予定】

- 荒沼キャンプ場炊事棟復旧工事
- 本館屋根及び軒天改修工事
- プラネタリウム更新工事
- 電気ケーブル等設備更新工事
- トイレ洋式化工事
- 照明LED化工事
- 乗用車・乗用芝刈機更新

【新型コロナウイルス感染症対策】

- 水栓器具改修
- 非接触型検温器の設置